

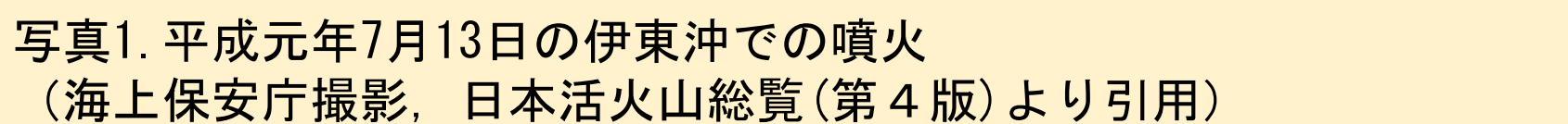
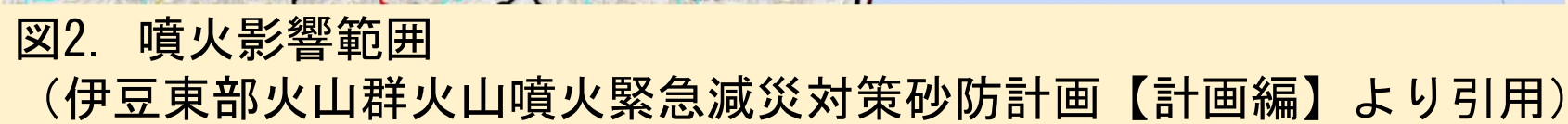
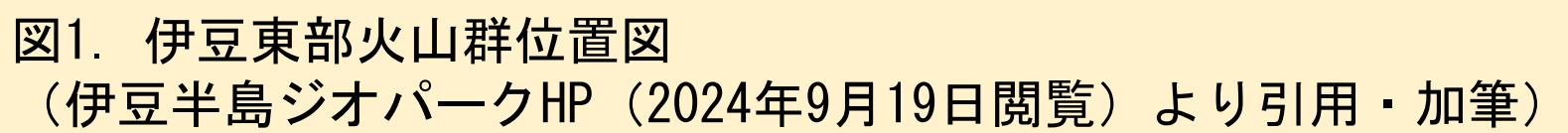
◆伊豆東部火山群とは

伊豆東部火山群は、伊豆半島東部に位置する東伊豆単成火山群及び、その東方海底に広がる東伊豆沖単成火山群の総称になります（図1）。

観光地として知られる大室山も本火山群を代表する火山であり、約4000年前の噴火で形成されました。平成元年7月13日には、伊東市沖の手石海丘で有史以来初の噴火がありました（写真1）。

伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災対策砂防計画は、国と県が共同で平成28年度に設置した検討会で議論が行われ、平成30年には噴火影響範囲が見直され（図2）、平成31年3月に単成火山群としては日本で初めてとなる計画を策定しました。

- ・平成28年2月 火山災害警戒地域に指定
- ・平成29年1月 伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策
砂防計画検討会設置
- ・平成31年3月 火山噴火緊急減災対策砂防計画策定



①関係行政機関で構成される連絡会議の実施
→国や県、市職員や学識者を招き、各種取組の進捗状況報告や火山に関する勉強会（図3）を実施。（令和6年2月第6回）

②緊急減災対策（ハード、ソフト）の具体化
→土石流シミュレーション結果に基づく被害想定区域図から、保全対象や現地状況を踏まえ緊急減災ドリルを作成（図4）。

③緊急時のソフト対策に関するタイムライン検討
→火山活動の推移に合わせたタイムライン（図5）・チェックリストを作成し、本局と事務所の初動対応、役割分担を確認。
→国土交通省で整備を進めているリアルタイムハザードマップシステムの説明会や、緊急調査研修への参加。

図3. 勉強会資料（火山噴火時に流出した溶岩への対策事例）

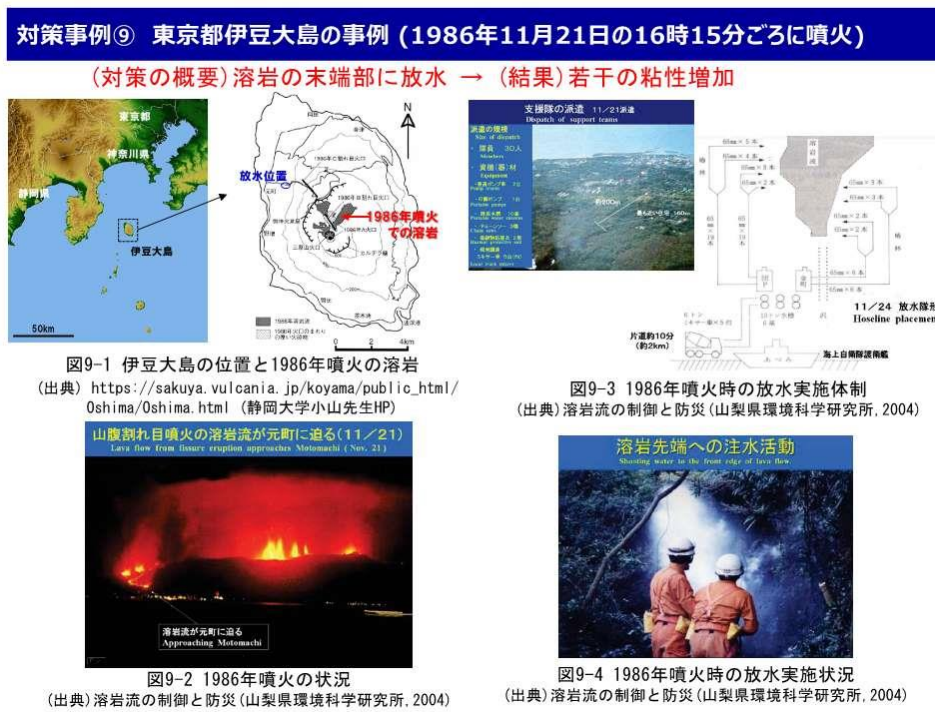


図4. 緊急減災ドリルの作成例

図5. 緊急時の各タイミングで実施すべきソフト対策の基本項目
（「伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画【計画編】」
（平成31年3月）より引用）

計画の推進のため、とりまとめた緊急対策に係る具体的な取組内容を整理し、取組の実施主体と関係機関で調整・連携を図っていく。